

【3つの施策の柱に共通する取組】（前頁から続く）

＜技能五輪全国大会及び全国アビリンピックの開催準備＞

○ 2019 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催に向けた準備を進めるとともに、2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック実施計画の検討を実施

30 年度実施状況

- ・第 56 回技能五輪全国大会・第 38 回全国アビリンピック（おきなわ技能五輪・アビリンピック 2018）への愛知県選手団派遣（11 月）
- ・2019 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック一年前イベントの開催（11 月）
- ・2019 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック大会実施計画の策定（3 月）
- ・2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック基本計画の策定

29 年度実績

- ・あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会の設立（5 月）
- ・2019 年度全国アビリンピックの開催決定（1 月）
- ・2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック基本計画の検討（3 月）

＜技能五輪国際大会の招致＞

○ 2023 年の技能五輪国際大会の招致に向け、運営組織であるWSI（ワールドスキルズ・インターナショナル）総会等の場を活用した招致活動等を実施

30 年度実施状況

- ・2023 年技能五輪国際大会招致委員会（委員長：愛知県知事）発足（4 月）
- ・WSI 総会で、2023 年技能五輪国際大会の正式立候補表明（10 月）
- ・WSI による訪問調査（3 月頃・予定）

29 年度実績

- ・2023 年技能五輪国際大会の愛知県招致に係る国（厚生労働省）の方針決定（9 月）

[大会ロゴマーク]



2019 年度・2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック

[大会スローガン]

「その技に 誇りと感動 あいちから」

＜参考＞

【計画のアウトカム指標】

項目	数値（愛知県）
①労働力人口の全国シェア	6.2% (2020 年までに)
②労働力率	62.0% (2020 年) ※高齢化に伴う低下傾向の中、 2012 年水準 (61.7%) を維持
③若者(25 歳～44 歳)の完全失業者数	50,000 人以下 (2020 年までに)
④女性(25 歳～44 歳)の労働力率	73.1% (2020 年までに)
⑤高齢者(65 歳以上)の労働力率	24.8% (2020 年までに)
⑥民間企業における障害者の法定雇用率達成	2.0% (2020 年までに)
⑦技能検定合格者数	8,500 人/年度

【施策の柱①：高度なモノづくりに向けた人材の育成支援】

＜モノづくりの基盤強化に向けた人材の育成支援＞

- 航空機の増産・量産化に対応した研修等の人材育成支援を実施
30年度計画（29年度実績）
 - ・航空機製造技能者育成講座 受講者数：720人日（900人日）
 - ・生産技術者養成研修 受講者数：30人日（36人日）
 - ・品質保証実務研修 受講者数：30人日（新規）
- モノづくり現場への女性の参画や職域拡大を促進するため、モノづくり現場で活躍する女性の事例を調査し、情報発信するとともに、職場見学バスツアーを実施
30年度計画（29年度実績）
 - ・モノづくり女子との交流会5回 ツアー記録パンフレット4,000部
 （事例調査：30件、モノづくり女子との交流会5回）

＜ビジネス環境の変化に対応する人材育成の強化＞

- あいち産業科学技術総合センターと連携して、県内の中小企業におけるI・O・Tの活用促進のため、主に製造業を対象に、現場のI・O・T化の動向や地元中小企業の事例についてのセミナーを開催
30年度計画（29年度実績）
 - ・参加者数：100人（320人）
- グローバル化に対応する人材の育成を図るため、県内企業が多数進出している東南アジアにおいて、職業高校生の海外インターンシップを実施
30年度実施状況（29年度実績）
 - ・職業高校生8人がマレーシアで海外研修でインターンシップを実施（8名、ベトナム）
- 外国人留学生の県内企業就職促進のため、留学生を対象としたインターンシップ、企業見学ツアー等を実施
30年度実施状況（29年度実績）
 - ・留学生インターンシップ事業
 参加留学生数137人（86人）、うちマッチング成立 102人（55人）
 企業数78社（43社）、うちマッチング成立 52社（28社）
 - ・外国人留学生向け企業見学ツアー 参加留学生数30人（13人）

＜若手技能者の育成支援＞

- 技能を尊重する気運の醸成を図るため、中小企業の若手技能者を対象とする技能競技大会（町工場技能者コンクール）を実施

30年度実施状況（29年度実績）

実施職種：建築大工、建築板金、溶接（旋盤、電気工事、溶接 51人）
 実施場所：愛知総合工科高等学校

- 早期段階からモノづくりの魅力を浸透させるため、技能五輪のメダリスト等による出前講座を小中学校等で実施するとともに、小中学生を対象にした技能大会を実施

30年度計画（29年度実績）

- ・出前講座の参加校数：50校／年度（52校）
- ・少年少女技能大会（アイチータ杯）の実施：3競技（4競技）

・色々な人の話をこれまで聞いてきたが、ものを作っている人の話はとてもためになった。
 これからも他の職業の人の話を聞いてみたい。

- 熟練した技能を有する企業OBや個人事業者を中小企業に派遣し、企業内の人材育成を支援するとともに、工業高校等に派遣し若者の技術、技能の向上を図る。

30年度実施予定（29年度実績）

あいち技能伝承バンクの創設 新規
 派遣件数：165人日／年度※計画（104人日／年度、12中小企業、14校）

・技術・技能だけでなく、職場環境についてもアドバイスをいただき、これを契機に5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の徹底などができた。

【計画のアウトプット指標】

項目	目標数値	29年度実績
航空宇宙産業の人材育成研修受講者数	12,000人日 (2020年度までに)	900人日
モノづくり現場で働く女性のロールモデルを発掘・紹介	100人 (2020年度までに)	30人
ITスキルを有する技術者向け講習会の参加者数	100人／年度	320人
町工場技能者コンクール参加者数	30人／職種／年度	51人／3職種
出前講座の参加校数	50校／年度	52校
熟練技能者の派遣件数	100人日／年度	104人日

【施策の柱②：中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援】

＜企業・業界及び在職者・求職者のニーズに対するきめ細かな対応の強化＞

- 人材育成の重要性を啓発し、経営者の意識改革を図るため、モノづくり中小企業経営者を対象とした人材育成塾（森岡塾）を開催

30年度計画（29年度実績）

- ・開催回数：4回 参加人数延80人（4回 参加人数：延91人）

- ・いろいろ成功例、失敗例を知ることができてよかった。
- ・従業員・顧客とどう向き合っていくべきか学べた。
- ・キャリアパスの必要性を痛感した。

- モノづくり現場で学生に中小企業の魅力を体感してもらうため、大学生、専修学校生を対象とした、モノづくり中小企業のインターンシップを実施

30年度計画（29年度実績）

- ・受入企業数 25社、参加学生数25人※計画（27社 41人）

- ・今まで持っていた製造業に対する閉鎖的なイメージが、がらりと変わった。
- ・インターンシップ参加後は、中小企業や地域貢献にも興味を持った。

- 愛知県産業労働センター等において、中小企業の様々な支援策に関する情報提供などをワンストップで実施

30年度実施状況（29年度実績）

- ・相談対応件数 愛知県産業労働センター 2,761件（8,753件）
愛知県産業人材育成支援センター 52件（190件）

＜労働生産性の向上に向けた支援＞

- 愛知県職業能力開発協会が、主に生産現場の監督者を対象としたTWI訓練（仕事の教え方、改善の仕方、人の扱い方を内容とする企業内訓練）を実施

30年度計画（29年度実績）

- 訓練受講者数：1,610人／年度（1,678人）

＜人材育成・能力開発に向けた関係機関（産業界、労働界、教育界等）の連携強化＞

- 愛知県産業人材育成支援センターに配置された「産業人材育成連携コーディネーター」が、中小企業や商工会議所等の関係団体を訪問し、ネットワークを強化〔再掲〕
- 愛知県地域職業訓練実施計画に基づく愛知労働局、県、(独)高齢・障害・求職者支援機構愛知支部の連携による公的職業訓練の計画的、効果的实施。

【計画のアウトプット指標】

項目	目標数値	29年度実績
人材育成塾への参加経営者数	60人	91人
モノづくり企業インターンシップの受入れ企業数、学生数	25社 25名以上	27社、41人
ワンストップ窓口の相談対応件数	25,000件 (2020年度までに)	8,943件 ※愛知県産業労働センターと産業人材育成支援センターとの合計値
愛知県職業能力開発協会が行う訓練の受講者数	1,600人／年度	1,678人

【施策の柱③：キャリア教育・職業教育の推進】

<発達段階に応じたキャリア教育の推進>

- 県立高等学校において、インターンシップ等の体験活動を拡充
30年度計画（29年度実績）
 - ・県立高等学校（全日制）全校でインターンシップを実施
 参加者数：18,000人／年度（18,243人）
- 社会人講師やインターンシップの橋渡しを円滑に行うため、コーディネーターや専門人材を活用
30年度計画（29年度実績）
 - ・キャリア教育コーディネーター活用事業を立ち上げ、4名のコーディネーターが、モデル校16校のインターンシップの受入先やキャリア教育に関する社会人講師を開拓（開講講座 124講座）

<産業界・地域と連携したキャリア教育の推進>

- 産学行政、教育関係者、職業能力開発機関が連携して、地域を挙げてあいちの「人財力」を強化するために設置した「愛知県産業人材育成連携会議」において、職場体験・インターンシップ等キャリア教育の充実方策を検討
30年度実施状況
 - ・県始め12団体が開催する出前講座やモノづくり体験事業等を「あいちキャリア教育地域連携事業」と位置付け、その広報や実施、成果の発信を連携して実施
 - ・小・中学校教諭のモノづくり企業見学会 2回 4企業（2回 4企業）

- ・企業の現場を見学することで、苦勞や課題を知ることができた。
- ・身近に特色のある企業があることを知った。
- ・大企業を支える中小企業のモノづくりの魅力を感じることができた。
- ・中小企業のモノづくりの熱意を知ることができた。

<モノづくり離れ対策の推進>

- 出張発明クラブ（活動体験）の開催など、モノづくり・科学技術と子供や若者を結ぶ取組を強化
30年度実施計画（29年度実績）
 - ・出張発明クラブの開催 8回／年度※計画（9回、327人）
 - ・科学大好き！こどもサイエンスラボの開催 1回（1回、1,261人）
 - ・ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備に向け、名古屋市と共同で設計の実施 等

<専門高校における職業教育の充実>

- 本県の工業教育の中核となる県立愛知総合工科高等学校を開校し、高度で実践的なカリキュラムを実施
- 県立工業高校におけるモノづくりスキルアップ講座の実施、キャリアリンク講座の実施などを通じ、モノづくり人材を育成
30年度計画（29年度実績）
 - ・地域ものづくりスキルアップ講座の実施 17校※計画（17校 延べ85社において243名が体験）
 - ・地域産業専門講座の実施 57校（57校）
 - ・高校生の技能検定合格者数 800人／年度（816人）
 - ・あいちSTEMハイスクールの指定を始めとしたSTEM教育の推進

【計画のアプトプット指標】

項目	目標数値	29年度実績
県立高等学校におけるインターンシップに参加した生徒数	18,000人／年度	18,243人
中小企業を対象とする大学生の職場体験・見学の参加者数	180人／年度	86人
出張発明クラブ参加者数	120人／年度	327人
高校生の技能検定合格者数	800人／年度	816人